令和 2年 4月 14日

各大学長
各大学農学部長 殿
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐藤 裕之
(公印省略)

自然科学系 農学・生命科学領域（国際農業・食料経済分野）教員公募要項

1. 募集職種・人員 准教授 1名
2. 任 期 任期なし
3. 所 属 教育研究院自然科学系 農学・生命科学領域
(専任担当組織：農学生命科学部 国際園芸農学科)
4. 専 門 分 野 国際農業・食料経済分野
5. 担 当 科 目 農学生命科学部：
〔専任担当科目〕国際食料流通論，協同組合論，食農経済専門演習Ⅰ・Ⅱ，
国際園芸農学専攻演習，卒業研究など
〔分担科目〕農学生命科学概論，園芸農学基礎演習，海外研修入門，食農経
済専攻調査実習，専門英語，国際園芸農学入門など
大学院地域共創科学研究科：
〔専任担当科目〕地域協同組合論など
〔分担科目〕地域共創演習，グローバルビジネス特別研究Ⅰ・Ⅱなど
教養教育科目：
スタディスキル導入科目，自然・科学科目群，ローカル科目群，グローバル科
目群など
6. 採用予定時期 令和2年10月1日（以降のできるだけ早い時期）
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用となります。
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 次の要件をすべて満たす者
(1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有す
ること
(2) 教育上の実績と，原則として著書及び学会誌またはこれに準ずるものに掲
載された原著論文・総説を10編以上有すること
(3) 原則として最近5年間に公表された同上の業績を3編以上有すること
(4) 研究及び教育上の経歴年数が，採用予定時まで5年以上経過しているこ

と。ただし、特に優れた能力があると認められる場合には、いずれかの経歴年数が5年程度とすることができる。

9. 応募書類
- (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
 - (2) 教育研究業績書（業績の区分，記載方法については，農学生命科学部のホームページを参照してください）
 - (3) 教育研究業績書に記載された著書，学術論文，総説のうち主要なもの10編以内の別刷又はコピー
 - (4) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
 - (5) 学会・社会における活動状況の説明書
（所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください）
 - (6) 従前の研究活動の特徴と今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの
（それぞれ2,000字以内）

※必要書類中（1），（2），（4）は所定の様式に記載して下さい。

様式は，農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。記載の仕方に十分にご注意ください。

10. 応募期限 令和2年5月29日（金）（書類必着）期限を過ぎた応募は受けません。

11. 選考方法
- (1) 書類選考
 - (2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）
 - (3) 候補者に対する面接

12. 書類提出先 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）宛
※封筒に「教員応募書類（国際農業・食料経済分野准教授）在中」と朱書きし，簡易書留，レターパック，EMS，その他法令で認められる送付方法により，送付記録の残る方法で送付して下さい。

13. 問い合わせ先 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）
Tel：(0172)39-3748 E-mail：jm2745@hirosaki-u.ac.jp

14. その他
- (1) 国際園芸農学科には，教育コースとして園芸農学コース及び食農経済コースの2コースがあります。
今回の公募は，食農経済コースの教員補充に伴うものです。
 - (2) 国際園芸農学科は，国際化が進む世界の中で地域の農業と暮らしのよりよい未来を目指して，果樹学から作物学・蔬菜学・花卉学・畜産学及び生産機械学までの農業生産領域と農業経営や国内外の農畜産物の流通機構の改善に関する実際の・応用的な素養と能力を有する人材の育成に取り組んでいます。

- (3) 今回公募する教員には、国際的な視点から国内外の農業・食料部門における実態と問題点、協同組合的対応を農業経済学的な視点から追求する専門分野（国際農業・食料経済分野）の教育と研究ができる方を望みます。
- (4) 弘前大学は、2020年4月、大学院を再編し、地域共創科学研究科を新設しました。採用者は、当該研究科教員となる資格審査を経て修士課程の学生を指導することになります。
- (5) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (6) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (7) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ (<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>) をご覧ください。
- (8) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
- (9) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は、所属が「自然科学系 農学・生命科学領域」の他に、教員養成部門に所属することになります。
- (10) 応募書類により取得する個人情報、本公募による国際農業・食料経済分野准教授候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上